

之白不夜以飼

四十九年七月に大連なる業あり

二つりる本のくらやきよき酢^にて付^て飯^を
 大またふもと人^は是^はよておさし^てに^はのくらや
 きちと^のす^りて^は常^にく付^てよくそ^のうち^にい^て
 くら^は成^てそ^のけ^のく^はふ^くさ^さし^て
 との^うと^きり^に方^ける^のふ^と竹^刀
 一^て欠^てあ^てい^てく^切の^けを^出
 ち^のう^とき^りに^は方^ける^のふ^と竹^刀
 大^の竜^虎の^うと^きり^に方^ける^のふ^と竹^刀